

様式例 13

指定管理者制度活用事業 総括評価シート

評価年月日：令和2年7月20日

評価者：経済労働局指定管理者選定評価委員会

1. 業務概要

施設名	川崎市地方卸売市場南部市場
指定期間	平成26年4月1日～令和3年3月31日（指定期間2年延長含む）
業務の概要	<ul style="list-style-type: none"> 施設の利用許可、施設の維持管理、車両及び駐車場の利用等に関する業務 利用料金の収受、減免等に関する業務 卸売予定数量等の公表やせりの監視、届出書等の受理及び保管に関する業務 市場内事業者との意見交換の場の設置や市場のPR策、自主事業等の市場活性化策に関する業務
指定管理者	名称：川崎市場管理株式会社 住所：川崎市幸区南幸町3-126-1 電話：044-223-7140
所管課	経済労働局中央卸売市場北部市場管理課（電話：044-975-2211）

2. 「評価の視点」に基づく事業期間全体の評価

評価項目	事業実施状況等																																				
1 市民や利用者に必要な量及び質のサービスを提供できたか。 <table border="1"> <tr><td>twitterフォロワー数 参考</td></tr> <tr><td>2,061 岡本太郎美術館</td></tr> <tr><td>97 経済労働局</td></tr> <tr><td>141 労働会館</td></tr> <tr><td>132 産業振興会館</td></tr> </table> <table border="1"> <tr><td>Facebook「いいね！」数 参考</td></tr> <tr><td>4,222 福田市長</td></tr> <tr><td>14 経済労働局</td></tr> <tr><td>92 労働会館</td></tr> <tr><td>477 産業振興会館</td></tr> </table> <p>令和2年6月6日現在</p>	twitterフォロワー数 参考	2,061 岡本太郎美術館	97 経済労働局	141 労働会館	132 産業振興会館	Facebook「いいね！」数 参考	4,222 福田市長	14 経済労働局	92 労働会館	477 産業振興会館	<p>日々の巡回や収穫祭等の意見交換の場を通じて、利用者である場内事業者等とコミュニケーションを図り、要望・意見等の聴取、改善に向けた対応を行っている。場内事業者が安心して円滑に市場業務を行えるよう、通常の施設維持・管理業務等に適正に反映させており、総じて業務仕様書のとおり、安定的な管理運営を行うことができています。トラブル等の事案がある場合は、適宜所管課に相談いただくとともに、月毎のモニタリング時に共有を図りながら、適切な対応を行うことができています。</p> <p>特に、施設の利用については、場内事業者の要望を踏まえながら、施設の老朽化や利用頻度が低い施設を改修し、新たなスペースを確保することで、施設利用の拡大を希望する事業者に提供することについては、指定期間を通して積極的に取り組み、事業者のサービス向上、指定管理者自身の収入の確保を図っている。</p> <p>また、買出人や一般利用者向けには、継続してTwitterやFacebook等のSNSを活用し、旬の食材の情報やイベント告知を行うなど、市場のPRも含めたサービスの提供にも積極的に取り組んでいる。その投稿数や一般利用者向けのイベント数は、市直営時での実績を大きく上回るものであり、そのフォロワー数の増加等の反響も順調に広がり続けている。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;"> <p>twitterフォロワー数の推移</p> <table border="1"> <tr><th>年度</th><th>フォロワー数</th></tr> <tr><td>H26年度</td><td>105</td></tr> <tr><td>H27年度</td><td>310</td></tr> <tr><td>H28年度</td><td>486</td></tr> <tr><td>H29年度</td><td>666</td></tr> <tr><td>H30年度</td><td>1,012</td></tr> <tr><td>R1年度</td><td>1,323</td></tr> </table> </div> <div style="text-align: center;"> <p>Facebook「いいね！」数の推移</p> <table border="1"> <tr><th>年度</th><th>いいね！数</th></tr> <tr><td>H26年度</td><td>917</td></tr> <tr><td>H27年度</td><td>1,176</td></tr> <tr><td>H28年度</td><td>1,389</td></tr> <tr><td>H29年度</td><td>1,573</td></tr> <tr><td>R1年度</td><td>1,699</td></tr> </table> </div> </div>	年度	フォロワー数	H26年度	105	H27年度	310	H28年度	486	H29年度	666	H30年度	1,012	R1年度	1,323	年度	いいね！数	H26年度	917	H27年度	1,176	H28年度	1,389	H29年度	1,573	R1年度	1,699
twitterフォロワー数 参考																																					
2,061 岡本太郎美術館																																					
97 経済労働局																																					
141 労働会館																																					
132 産業振興会館																																					
Facebook「いいね！」数 参考																																					
4,222 福田市長																																					
14 経済労働局																																					
92 労働会館																																					
477 産業振興会館																																					
年度	フォロワー数																																				
H26年度	105																																				
H27年度	310																																				
H28年度	486																																				
H29年度	666																																				
H30年度	1,012																																				
R1年度	1,323																																				
年度	いいね！数																																				
H26年度	917																																				
H27年度	1,176																																				
H28年度	1,389																																				
H29年度	1,573																																				
R1年度	1,699																																				
2 当初の事業目的を達成することができたか。	<p>南部市場指定管理業務のベースとなる施設の維持管理については、総じて仕様書のとおり、安定的な管理運営を行うことができており、その管理水準は市直営時と同様の水準が維持できているものと評価している。</p> <p>市場の活性化に係る事業については、上記のとおり、SNSを活用した買出人・一般利用者向けの情報発信のほか、市場のPRや市場独自の商品化を目的に、神奈川県水産技術センターと連携しウニの飼育に取組むなど、民間ならではの創意工夫で、市場の活性化に向けた取組を継続して行っている。一方で、指定管理者が当初計画していた「NB倶楽部」や「NBサロン」については、事業者からの要望が少なかったことや、施設の構造上の都合により実施することができなかったが、上記のようなSNSを活用した市場のPRやウニの飼育、H29年度から継続している買出人向けの卓上のぼりを使った取組等、代替的な活性化施策の取組により、当初の事業目的は達成できていると評価している。</p> <p>なお、市場施設は一般の市民向けの施設と異なり、主に市場において業務を行う事業者を対象としていることから、施設利用率等による評価は行っていないが、後述する市場会計や取扱量の推移による効果検証・評価を行っている。別途年度評価においては、SNSでのフォロワー数やイベント参加者数等による定量的な評価を行っている。</p>																																				
3 特に安全・安心の面で問題はなかったか。	<p>警備や清掃等の施設・設備の維持・管理においても、業務仕様書のとおり適切に実施できている。危機管理に対する意識も高く、通常時の対応だけでなく、イベント開催時での警察や消防等との入念な事前協議、台風被害を教訓にした変電設備等の被害防止対策、防犯カメラの追加設置・更新など、事件事故の未然防止に向けた取組の強化に継続して取り組み、市場の安定的な管理運営を図っている。</p>																																				

4	更なるサービス向上のために、こういった課題や改善策があるか。	少子高齢化や市場経由率の低下等により全国的に市場取扱量が減少する中、南部市場の取扱量、特に青果・水産物部については、近年増加傾向となっている。そのため荷捌スペースや駐車場が物理的に不足しており、その改善が課題となっている。既存施設を可能な限りで配置転換、或いは改修したり、また、場内事業者とも連携しながら時間で使用可能施設を割り当てたりするなど、諸々制約がある中でも、様々な工夫により今後対応していく必要がある。また、更なる市場の活性化、市民への市場PRに向けて、これまでのSNSを活用した情報発信や料理教室等のイベント開催だけではなく、民間ならではの創意工夫で様々な取組を継続し、最終的には市場取扱量の増加につながるよう今後取り組んでいく必要がある。
5	非公募更新のための条件を満たしているか (該当施設のみ)	—

3. これまでの事業に対する検証

	検証項目	検証結果																																																																
1	所管課による適切なマネジメントは行われたか。	月毎のモニタリングや事案毎に適宜打ち合わせを行うなど、管理運営状況の把握に努め、突発的な問題や事業実施に対する助言、庁内関係部署の紹介など、適切なマネジメントが実施できている。所管課内での情報共有についても、部内会議やモニタリングの議事録回覧等により、各担当者に共有し対応ができています。																																																																
2	制度活用による効果はあったか。	<p>市場施設は一般の市民向け施設と異なり、市場において業務を行う事業者を対象としていることから施設利用率等による効果検証は行わず、次の2点で効果検証を行う。</p> <p>【卸売市場事業特別会計の推移】 (千円)</p> <table border="1" data-bbox="499 831 1431 958"> <thead> <tr> <th></th> <th>H25年度</th> <th>H26年度</th> <th>H27年度</th> <th>H28年度</th> <th>H29年度</th> <th>H30年度</th> <th>R1年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>歳出</td> <td>187,192</td> <td>19,240</td> <td>19,212</td> <td>4,125</td> <td>4,222</td> <td>4,340</td> <td>4,394</td> </tr> <tr> <td>歳入</td> <td>147,628</td> <td>61</td> <td>73</td> <td>383</td> <td>359</td> <td>346</td> <td>330</td> </tr> <tr> <td>(歳出-歳入)</td> <td>▲39,564</td> <td>▲19,179</td> <td>▲19,139</td> <td>▲3,742</td> <td>▲3,863</td> <td>▲3,994</td> <td>▲4,064</td> </tr> </tbody> </table> <p>※歳出は南部市場にかかる運営費、歳入は南部市場にかかる収入を計上 ※歳出は施設整備費を除く、歳入は市債を除く</p> <p>職員数の減少(平成25年度の職員10名・非常勤職員1名に対し、令和元年度は非常勤職員1名)等により、各年度の赤字額(歳出-歳入)は、直営時の平成25年度で39,564千円であったが、令和元年度(見込)では4,064千円となり、35,500千円減少した。</p> <p>【取扱量の推移】 (青果部、水産物部・ト、花き部・万本束個)</p> <table border="1" data-bbox="499 1196 1431 1330"> <thead> <tr> <th></th> <th>H25年度</th> <th>H26年度</th> <th>H27年度</th> <th>H28年度</th> <th>H29年度</th> <th>H30年度</th> <th>R1年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>青果部</td> <td>6,886</td> <td>5,956</td> <td>14</td> <td>5,492</td> <td>8,560</td> <td>9,389</td> <td>10,497</td> </tr> <tr> <td>水産物部</td> <td>3,915</td> <td>3,793</td> <td>3,732</td> <td>3,587</td> <td>2,730</td> <td>3,632</td> <td>4,783</td> </tr> <tr> <td>花き部</td> <td>2,170</td> <td>2,212</td> <td>2,316</td> <td>2,253</td> <td>2,325</td> <td>2,440</td> <td>2,687</td> </tr> </tbody> </table> <p>市場経由率の低下等により全国的に市場取扱量が減少する中、南部市場の取扱量は近年増加傾向となっている。制度導入前の平成25年度と令和元年度を比較した場合、青果部は152%で、一時、卸売業者が撤退した影響で取扱量を大幅に減少したものの、新たな卸売業者が取扱量を順調に伸ばしている。水産物部も、平成30年度からの地元スーパーとの取引増により同比122%と大きく伸ばしている。花き部(同比124%)も含め、健闘した結果となっている。</p>		H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R1年度	歳出	187,192	19,240	19,212	4,125	4,222	4,340	4,394	歳入	147,628	61	73	383	359	346	330	(歳出-歳入)	▲39,564	▲19,179	▲19,139	▲3,742	▲3,863	▲3,994	▲4,064		H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R1年度	青果部	6,886	5,956	14	5,492	8,560	9,389	10,497	水産物部	3,915	3,793	3,732	3,587	2,730	3,632	4,783	花き部	2,170	2,212	2,316	2,253	2,325	2,440	2,687
	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R1年度																																																											
歳出	187,192	19,240	19,212	4,125	4,222	4,340	4,394																																																											
歳入	147,628	61	73	383	359	346	330																																																											
(歳出-歳入)	▲39,564	▲19,179	▲19,139	▲3,742	▲3,863	▲3,994	▲4,064																																																											
	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R1年度																																																											
青果部	6,886	5,956	14	5,492	8,560	9,389	10,497																																																											
水産物部	3,915	3,793	3,732	3,587	2,730	3,632	4,783																																																											
花き部	2,170	2,212	2,316	2,253	2,325	2,440	2,687																																																											
3	当該事業について、業務範囲・実施方法、経費等で見直すべき点はないか	本施設は利用料金収入のみで運営をしており、市の財政的負担は大規模修繕を除いて発生していない。指定管理1期目であるが、上記のとおり成果も上がっており順調に管理運営が行われている。これまでの状況を踏まえ、細微な部分では一部業務範囲や実施方法等で見直す点は想定されるが、現時点では概ね現状のまま継続することが最善と考えられる。																																																																
4	指定管理者制度以外の制度を活用する余地はないか	上記効果等を検証した結果、現時点では概ね現状のまま指定管理者制度を継続していくことが最適であると考えている。また、卸売市場法改正に伴い、令和元年6月に本市市場のあり方や今後の方向性等を定めた『川崎市卸売市場経営プラン』の改訂を行ったが、本計画においても、当面、南部市場は引き続き指定管理者による市場の管理運営を行っていくとしている。卸売市場法は改正後の状況も踏まえ再度5年後に見直されることにもなっており、指定管理者制度以外の制度を活用する余地等については、第2期の後期に改めて検討する必要がある。																																																																

4. 今後の事業運営方針について

平成26年度から指定管理者制度を導入し2年間の延長を含め7年目を迎えているが、ベースとなる市場施設の管理・運営は安定的に行われている。新たな市場活性化事業も多数実施され、運営経費の削減や、市場取扱量が増加するなど制度活用による効果も表れている。そのため、今後、増加する荷への対応など場内事業者等の意見を一層取り入れながら、サービス向上を目指した取組を実施するとともに、買出人や一般利用者への市場PR等を目的とした事業展開も行いながら、現在の指定管理者制度を継続していくことが最適であると考えられる。
